



11/28 チカラを合わせて作った“希望”米を販売！ 道の駅神林 穂波の里

▶子供たちから元気をもらってお客様も笑顔に！



西神納小学校の5年生14人が、学校田から収穫したコシヒカリ米の販売体験を行いました。

「希望」と名付け、2キログラムずつ46袋準備したお米は、販売開始から20分たらずで完売。

購入された方からは「おそろいの法被を着て、笑顔で活動している子供たちに元気をもらいました」との声も聞かれました。

米を販売した売り上げの使い道は、児童たちから希望をとって決めるそうです。

12/1 日本茶の^{チャ}茶ンピオン決定戦 マナーポータ村上



小学3～6年生を対象に、日本茶のチャンピオンを決める「T-1グランプリ2018村上大会」が行われました。

「○×筆記クイズ」「お茶の種類当て」「お茶の入れ方実技」の合計点で競う予選に27人が挑戦。決勝に残った上位5人が、審査員の前で3人分のお茶の入れ方実技で優勝を目指しました。

見事優勝したのは、瀬波小学校6年生の増田結衣^{ゆい}さん。「とてもうれしいです。実技では急須のお茶をこぼさないように気をつけました」と話してくれました。

▶優勝した増田結衣さん



◀お茶の入れ方実技（決勝戦）

12/1・2 収穫の喜びを実感 大毎集落・さんぼく会館

▶きな粉作りに子どもたちも興味津々



◀農閑期に行われてきたみそづくりを体験

年間を通じて市外からの参加者が、農業体験や郷土料理づくり、伝統文化を体験し、山北地区の風土や人に触れる百姓やってみ隊。

種まきから、収穫、天日干し、脱穀まで自分たちで行い手塩にかけて育てた大豆で、自家製のみそときな粉を作りました。きな粉は、熱々のもち米を木臼に入れ、参加者みんなでついた出来立てのお餅にまぶしておいしくいただきました。

また、大毎集落の人から手ほどきを受け作ったみそは、約1年寝かせておいしいみそに仕上がる予定です。

12/2

金屋地区をもっと元気に！ 「小学生と金屋地区を考える会」 金屋小学校

▶6年生のグループ別のアイデア発表



集落支援員の酒井幸子さんが企画した「小学生と金屋地区を考える会」に、金屋小学校6年生14人と地域の方々が参加しました。

始めに小学生がグループごとに「金屋地区を元気にするためにやりたいこと」を発表。その後、「カフェの設置」や「地場産野菜の販売」などの児童のやりたいことを実現するために、地域住民の方々と一緒に意見やアイデアを出し合いました。

今月中に、考えた内容を試験的に実施する予定です。

12/1

メディアメッセを楽しむ 教育情報センター

▶親子で仲良く小物づくり



メディアメッセ2018が行われ、実験や工作を通して科学を学ぶ「科学の祭典」、プラネタリウムで映画を鑑賞する「ものがたりシアター」、絵本の読み聞かせをする「おはなしマラソン」など、盛りだくさんのイベントに多くの親子連れが訪れました。

科学の祭典の創作コーナーでは、ペットボトルの中で魚が浮いたり沈んだりするミニ水族館づくりや、小枝や木の実を使った小物づくりなど、たくさんの子どもたちが楽しんでいました。

12/9

集落の伝統行事「オサトサマ」 塩野町集落

▶担ぎ手は女装をして集落内を練り歩く



神社に新しいしめ縄を奉納し、新年の豊作などを祈願する、市指定無形民俗文化財の行事「オサトサマ」。

今年も重さ40kg程の巨大なしめ縄と酒樽を、集落の男性が2人1組でそれぞれ担ぎ、集落内を練り歩きました。担ぎ手は雪が降る中、お酒などで体を温めながら神社を目指し、無事にしめ縄を奉納することができました。

12/8

朝日地区百人一首大会 朝日保健センター

▶緊迫の決勝戦（5・6年生）



青少年育成朝日地区市民会議が主催する「第3回朝日地区百人一首大会」に小学生3人1組の14チームが参加し、5・6年生のトーナメント戦と、3・4年生のリーグ戦が行われました。

子どもたちは保護者が見守る中、札を熱心に見つめ、読み手の声に耳をすましていました。5・6年生の部で、優勝した小川小学校壱チームのリーダーは「去年は準優勝でしたが、今年は優勝して三面小学校にリベンジが果たせて良かったです」と話してくれました。